

## TTC DSL 専門委員会スペクトル管理サブワーキンググループ

---

日付：2004年9月17日

提出元：イー・アクセス株式会社<sup>1</sup>

題名：ビット数について

---

題記の件について、以下にて当社の考え方を述べる。

各社より、ビット数/サブキャリアを8ビットから15ビットへ変更する提案が出ているが当社としては、現行の8ビット計算で何ら問題点は生じていないもしくは、指摘されていないと認識しているため、従来の8ビットを継続することを支持したい。

**【理由】**

- ・ 当社は、保護判定基準値の設定の考え方については、SMS15-eA-01の寄書において、サービスレベルを基にするべきではない旨の意見を提出している。適合性評価を行ううえで、速度数値自体は、支配的な評価基準ではないと考えるので、8ビットの計算を継続することが適当である。
- ・ NTT 東日本殿の寄書「SMS-15-NTTE-15」に示されているように、近距離での評価が第2版と異なっている。この傾向は今後の新システムに対しても同様の計算結果として現れると想定しているが、15ビット化は、結果として新システムの導入を必要以上に妨げる恐れがある。

本寄書に関連する課題番号	C.4.5
--------------	-------

以上

---

<sup>1</sup> イー・アクセス株式会社  
渡辺芳治 園畑秀樹 南 健太郎大橋 功